

障がい者の人権を考える
シンポジウムみやぎ
**今こそ優生手術
からの人権回復を
目指して**
～優生手術被害者は訴える～

日時

2017年7月8日(土)
13:00—16:30

場所

仙台市福祉プラザ プラザホール

仙台市青葉区五橋2-12-2

(市営地下鉄南北線 五橋駅下車すぐ)

基調講演 尾上浩二さん(DPI 日本会議)

シンポジウム 飯塚淳子さん(仮名・優生手術被害者)

利光恵子さん(優生手術に対する謝罪を求める会)

新里宏二(実行委員・弁護士)

杉山裕信(実行委員・CIL たすけっと)

参加費

500円
(資料代として)

主催

障がい者の人権を考える
シンポジウムみやぎ実
行委員会

共催

優生手術に対する謝罪
を求める会

DPI 日本会議

DPI 女性障害者ネット
ワーク

SOSHIREN 女(わたし)のからだから

申し込み・

問い合わせ先

障がい者の人権を考えるシンポ
ジウムみやぎ実行委員会

〒982-0011

仙台市太白区長町 1-6-1CIL
たすけっと気付

TEL:022-248-6054

FAX:022-738-9501

メール:

cil-tasuketto@k6.dion.ne.jp

今年**3月28日**に参議院議員会館で院内集会【主催：優生手術に対する謝罪を求める会】を開催しましたが、せっかく日弁連の意見書が出たにもかかわらず、いまだに国からの謝罪も救済措置もありません。優生手術の被害者である飯塚淳子さん（仮名）の地元・宮城で、優生手術の被害に関する理解を深めてもらうために、飯塚さんに話をいただくとともに、優生手術や「優生手術に対する謝罪を求める会」の活動について、共同代表の利光恵子さんから話していただきます。

それから、昨年**7月26日**に起きた「相模原市やまゆり園事件」以来、容疑者の「障がい者はいなくなればいい」という発言から、優生思想が再認識され世の中に蔓延していると私どもは考えています。そして、根底でつながっている優生手術と優生思想について、DPI日本会議から尾上さんをお招きしてご講演をいただきます。

題 名：障がい者の人権を考えるシンポジウムみやぎ

「今こそ 優生手術からの人権回復を目指して」～優生手術被害者は訴える～

日 時：**2017年7月8日【土】 13:00～16:30**（開場12:30）

会 場：仙台市福祉プラザ プラザホール（仙台市青葉区五橋**2-12-2**）

参加費：資料代として**500円**

主催・問い合わせ：障がい者の人権を考えるシンポジウムみやぎ 実行委員会

〒982-0011 宮城県仙台市太白区長町1-6-1 CIL たすけっと気付

TEL:022-248-6054 FAX:022-738-9501 Mail:cil-tasuketto@k6.dion.ne.jp

共 催：優生手術に対する謝罪を求める会・DPI日本会議・DPI女性障害者ネットワーク・
SOSHIREN 女(わたし)のからだから

12:30 開場・受付

13:00～ 第一部開始 主催者挨拶

13:05～13:45 基調講演 尾上浩二さん「日本社会にみる優生思想（仮）」

休憩

14:00～15:00 第二部パネルディスカッション（コーディネーター 杉山裕信）

- ・飯塚淳子さん（仮名）へのインタビュー（20分）
- ・利光恵子さん「優生手術及び被害者のお話と、会の活動説明」（20分）
- ・新里宏二「人権救済申し立てと日弁連意見書について」（10分）
- ・尾上浩二さんからコメント・質問（10分）

休憩

15:10～16:20 第三部 討論

- ・フロア発言 2名の優生手術被害者から（20分）
- ・「優生手術被害者を救うためにどうことができるか」討論（30分）
- ・会場との意見交換

16:30 終了 閉会のあいさつ